

自己採点について ～確認しよう～

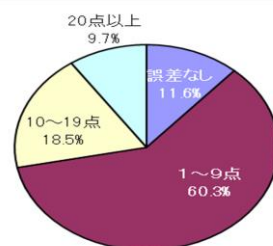
約4人に1人は10点以上の誤差！ 自己採点はとにかく正確に！ 慎重に！

右下のグラフは11月のマーク模試での自己採点の誤差を表したものの。なんと約4人に1人は10点以上の自己採点ミスをしていることがわかる。もし共通テストの自己採点でこれほど大きな誤差があれば、出願ミスにつながる可能性もある。「正確な自己採点」のために、以下のポイントをしっかりと守って、とにかく慎重に解答、自己採点しよう。

正確な自己採点のために～共通テスト本番での解答の掟～

- 試験開始前に、見直しの時間も計算に入れて時間配分をすること。
- 受験番号や名前などの記入に誤りがないかどうか確認すること。
- マークの「ダブリ」や記入欄の「ズレ」などがなく確認すること。
- 受験中に自分の解答を問題冊子に必ず控えること。
- マークシート上で訂正した場合、問題冊子の控えにも訂正を反映させること。
- 訂正の際は完全に消しゴムで消すこと。
- 問題冊子の控えとマークシートの解答とが一致しているかを最後に見直すこと。

自己採点と実際の得点との差



2013年度第3回ベネッセ・駿台マーク模試
自己採点チェック（900点満点）より

受験中の注意点

問題冊子に解答を控える。自己採点は受験中に始まっている！

時間との戦いになる共通テスト。しかし正確にマークするためには、焦りは禁物。解き始める前に見直し時間も含めた時間配分をすることが必要だ。そのうえでマークミスをしないよう解答すること。まず、問題冊子に解答をチェックし、大問ごとにまとめてマークすることで、記入欄のズレなどのマークミスを防ぐことができる。これは、正確な自己採点をするためにも重要。記憶だけに頼った自己採点にならないよう、きちんと解答を控えること。見直しによって発見した間違いを訂正する際には、マークシートだけでなく問題冊子の控えも修正することを忘れないようにしよう。

自己採点の仕方①

「正解・配点一覧」を使って自己採点。計算間違いに注意！

共通テスト終了後は、学校で配付される「正解・配点一覧」を使って自己採点する。受験中に問題冊子に控えておいた解答番号と見比べながら、正誤をチェックしていくこと。あとは正誤に従って、配点に注意しながら得点を合計していく。計算ミスを防ぐため、小計・総得点の計算は時間をかけて慎重に何度も行うこと。

自己採点の仕方②

集計カードに自己採点結果を転記。最後まで正確に！

自己採点結果は、転記ミスに気をつけて集計カードに書き写す。出願時の資料となる合格可能性判定はこの提出用の集計カードがもとなる。転記の際にミスをしてしまうと、せっかく正しい自己採点結果が出ていても、実際とは異なる判定が出てしまうことがあるので、注意深く転記すること。また、名前や志望校などについてもしっかりと確認すること。